

Mémoires 2022

第166回 天皇賞(秋) (GI)



春の惜敗を振り払う鋭脚 イクイノックス

強豪古馬の大逃げを捉えた驚異の末脚。3歳の大器が初戴冠を果たす。

スピード豊かな先行馬が揃い、展開が注目された一戦。ドバイターフで逃げ粘り同着優勝を飾ったパンサラッサが先手を奪うと、バビット、ノースブリッジ、ジャックドールらを見るみる引き離し大逃げの態勢に入る。好位の直後にはバイシマクラシックを制したシャフリヤールや3歳の皐月賞馬ジオグリフ。残る2頭の3歳馬イクイノックス、ダノンベルーガは中団に控えた。

1000mが57秒4というハイペースを刻んだ後もペースを落とさず3~4コーナーを回ったパンサラッサは、優に10馬身以上のリードを保ったまま直線に向く。これを捕まえられる馬はいるのか。スタンドは固唾を呑む。

直線、はるか前方のパンサラッサを目指し、馬場の真ん中からジャックドール、内からダノンベルーガ、そして外からイクイノックスが抜け出す。懸命の追撃を見守る6万人の眼前、目を見張る鋭さでパンサラッサを捉えて差し切ったのは、イクイノックスだった。

クリストフルメール騎手が「直線に向いたらパンサラッサがかなり前にいたので心配しましたが、イクイノックスの反応がすごく良かったです」と振り返ったように、上り3ハロン推定32秒7の末脚で古馬を撃破。春のクラシックでは二冠とも2着に泣いた大器が、ついに初タイトルを獲得するとともに、2017年キタサンブラックとの天皇賞(秋)父仔制覇を達成した。

またこの勝利により、前年のホープフルSから続いていたJRA平地GIにおける1番人気の連敗記録も、ついに「16」でストップすることとなった。

第166回天皇賞(秋) (GI)

10/30 東京競馬場 2000m(芝・左)晴・良 15頭

着順	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	調教師	タイム/着差	人気	通過順位
1	イクイノックス	牡	3	56	C.ルメール	木村 哲也	1:57.5	①	⑩⑩⑩⑨
2	パンサラッサ	牡	5	58	吉田 豊	矢作 芳人	1	⑦	①①①①
3	ダノンベルーガ	牡	3	56	川田 将雅	堀 宣行	クビ	④	⑪⑪⑪⑪
4	ジャックドール	牡	4	58	藤岡 佑介	藤岡 健一	1/2	③	④④③
5	シャフリヤール	牡	4	58	C.デムーロ	藤原 英昭	2	②	⑥⑤⑤
6	カラテ	牡	6	58	菅原 明良	辻野 泰之	1	⑨	⑧⑦⑨
7	マリアエレナ	牝	4	56	松山 弘平	吉田 直弘	ハナ	⑥	④⑤⑦
8	ユーバーレーベン	牝	4	56	M.デムーロ	手塚 貴久	クビ	⑩	⑭⑬⑪
9	ジオグリフ	牡	3	56	福永 祐一	木村 哲也	クビ	⑤	⑥⑦⑦
10	アブレイズ	牝	5	56	T.マーカンド	池江 泰寿	クビ	⑬	⑧⑦⑤
11	ノースブリッジ	牡	4	58	岩田 康誠	奥村 武	アタマ	⑪	②③③
12	カテナ	牡	8	58	三浦 皇成	中竹 和也	クビ	⑮	⑮⑮⑭
13	ポタジエ	牡	5	58	吉田 隼人	友道 康夫	クビ	⑧	⑫⑪⑪
14	レッドガラン	牡	7	58	横山 和生	安田 隆行	1 1/2	⑭	⑬⑬⑭
15	バビット	牡	5	58	横山 典弘	浜田多実雄	アタマ	⑫	②②②

単勝 ⑦260円 複勝 ⑦130円 ③470円 ⑥220円 枠連(2-4) 1,680円
馬連 ③-⑦3,330円 馬単 ⑦-③4,930円 ワイド ③-⑦1,210円 ⑤-⑦320円 ③-⑤2,260円
3連複 ③-⑤-⑦4,400円 3連単 ⑦-③-⑤23,370円

ハロンタイム 12.6-10.9-11.2-11.3-11.4-11.6-11.8-11.6-12.4-12.7
通過タイム 600m ③34.7-800m ③46.0-1000m ③57.4-1200m ③1:09.0-1400m ③1:20.8-1600m ③1:32.4-1800m ③1:44.8



優勝馬:イクイノックス

2019.3.23生 牡 青鹿毛
父:キタサンブラック
母:シャトーブランシェ
母の父:キングヘイロー
生産:安平・ノーザンファーム
馬主:(有)シルクレーシング